

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	透析病棟での薬剤師介入による JSDT ガイドライン 9 分割図達成率の検討
研究責任者	磯崎 泰也
研究実施体制	聖隷浜松病院 薬剤部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2021 年 2 月末
対象者	2019 年 5 月から 2020 年 8 月までの間に聖隷浜松病院透析科に通院した血液透析患者
研究の意義・目的	<p>当院では 2019 年 11 月より外来透析患者における薬剤管理指導業務が開始されました。その一環として当院血液透析患者の月 1 回行われる採血データを経時的に把握できるアクセスを作成し、そのデータを用いて医師へ処方提案及び疑義照会を行っています。薬剤師介入以前は主治医が血液透析患者の検査値等を確認し処方検討がされていたため、全透析患者を把握しなければいけない主治医に大きな負担がかかっていました。そこで薬剤師が作成したアクセスを用いて経時的に検査値を確認し治療に介入することで、効率的な処方提案及び疑義照会や主治医の負担軽減による医療の質の向上が期待できると考えられます。</p> <p>慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常では腎機能低下に伴いミネラル代謝異常が生じ、骨や副甲状腺ホルモン(PTH)の異常のみならず全身の血管石灰化などを介して生命予後に大きな影響を与えることが知られています。「慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常ガイドライン」では生命予後の観点から血清 P、血清 Ca 濃度の管理目標値が設定され、また適性に保つための治療法として 9 分割図によるミネラルコントロールを推奨しています。</p> <p>そこで本研究では血液透析患者における血清 P 値、血清 Ca 値および PTH 値の適正化に与える薬剤師の影響及び役割について 9 分割図を用いて検討を行いました。</p>
研究の方法	<p>対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。</p> <p>2019 年 5 月から 2020 年 8 月に継続して当院にて血液透析をしている患者 80 名を対象としました。</p> <p>血清 P 値、血清 Ca 値、PTH 値は薬剤師介入前 4 ヶ月と介入後 4 ヶ月を比較値としました。</p> <p>〈薬剤師介入前 2019.5-2019.8〉</p> <p>年齢、性別、血清 P 値、血清 Ca 値、iPTH、アルブミン、使用薬剤の有無、使用薬剤及び血清 P 値、血清 Ca 値、iPTH に影響を及ぼす薬剤の有無</p> <p>〈薬剤師介入後 2020.5-2020.8〉</p> <p>年齢、性別、血清 P 値、血清 Ca 値、iPTH、アルブミン、使用薬剤の有無、使用薬剤及び</p>

	血清 P 値、血清 Ca 値、iPTH に影響を及ぼす薬剤の有無、薬剤増量の有無、薬剤減量の有無、薬剤変更の有無、薬剤追加の有無
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 磯崎 泰也 TEL: 053-474-2222 (代表)